

第3章 計画の理念

1 基本理念

◎ 就労・自立・参加の支援

障がいのある方が、生涯を通じて、就労をはじめとした様々な社会経済活動に積極的に参加し、個性を発揮しながら、地域でいきいきと暮らすことができる社会を目指します。

◎ 主体性・選択性の尊重

障がいのある方が、一人一人のライフスタイルに応じ、多様な選択肢の中から、自らの生活を自らの意思で選択・決定していくことができる社会を目指します。

◎ 地域での協働・支え合い

障がいの有無にかかわらず誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して暮らすことができる、思いやりの心に満ちた、ふれあい豊かな、みんなが協働し、支え合う社会を目指します。

2 基本目標

『障害のある方が安心して自立できる環境づくり』

3 施策体系

【基本方向】

【具体的な推進方向】

基本方向 1

障がい福祉サービスの充実

- ① 障がい福祉サービス提供基盤の整備
- ② 福祉人材の確保と資質の向上
- ③ 重度・重複障がい者、高齢化等への対応

基本方向 2

就労・自立・社会参加の促進

- ④ 就労の支援と雇用の促進
- ⑤ 障がい者スポーツ、文化芸術の振興
- ⑥ 社会参加の支援

基本方向 3

安心して暮らせる地域づくり

- ⑦ 障がい及び障がいのある方に対する理解の促進
- ⑧ 権利擁護の推進
- ⑨ 地域生活への移行支援
- ⑩ 居住の安定の確保
- ⑪ ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりの推進
- ⑫ 地域力を活かした支え合いの推進

基本方向 4

多様な障がいへの支援

- ⑬ 療育・教育の充実
- ⑭ 発達障がい者（児）への支援
- ⑮ 高次脳機能障がいへの支援
- ⑯ 総合的なリハビリテーションの推進等